

大好きな淡路島で、古民家カフェと宿の事業で開業を支援

島のごちそう。古民家カフェと宿「淡」（奈良県）

昔からの夢であった古民家カフェ・宿事業を、Uターンで大好きな淡路島で創業

1. 相談のきっかけ

- 淡路島で古民家カフェ・宿事業を興すため、兵庫県が実施している「兵庫県へのUターン起業家等向け補助金」の応募を検討。（公財）ひょうご産業活性化センターへ訪問したところ、居住地である奈良県にある奈良県よろず支援拠点を紹介いただいた。

2. 課題整理・分析

- 助成金の応募はもとより、地縁のない地域で事業を行うには、具体的な事業内容を検討し、地元産食材の調達、カフェ事業では淡路島の特産品などを用いどのようなメニューを考案するか、民宿事業も含めた広告宣伝をどのようにするかなど、事業内容を具体的に検討することや、収益計画を含めた事業計画を策定する必要があった。また、地域支援機関の支援の必要性もあった。

3. 解決策の提案

- 事業計画は事業の具体性を中心に支援。具体的には、事業の新規性・独自性（宿泊事業：1日1組限定）、（カフェ事業：淡路島特産品を活用したメニュー等）、販路開拓策を検討し、事業スケジュール・収益計画等トータルで事業計画策定を支援した。メニューに関しては主に特産品を利用するが、当拠点から「淡路市商工会」を紹介し、生産者の紹介、その他事業にかかる支援を行える体制とした。



4. 成果

平成27年4月に兵庫県の「兵庫県へのUターン起業家等向け補助金」に採択され、平成27年3月に兵庫県へ引越し、島のごちそう。古民家カフェと宿「淡」の事業を平成27年秋に開始した。

- 淡路市商工会や近隣の住民の方から、農産品の仕入先を紹介され、地元産品を扱ったメニューができた。
- 集客に関しては、カフェ事業では地元のお客様中心に来店され、宿泊事業に関しては、知人等が来客が中心で集客できています。

